

| | |
|--|---|
| <p>中級Ⅱクラス Intermediate II Class</p> | <p>MII-R/G</p> |
| <p><u>クラス名 Title</u> <small>ちゅうきゅうこう ざ どっかい ぶんぽう</small> 中級講座Ⅱ 読解・文法 Intermediate II: Reading / Grammar</p> | <p><small>にほんごえんかくこうぎ</small> ※「日本語遠隔講義について」 <small>(p.80) を参照してください。</small></p> |
| <p><u>講師 Instructor</u> <small>こうし</small> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)</p> | |
| <p><u>教科書 Textbook</u> <small>きょうかしょ</small> 『ニューアプローチ 中上級日本語 完成編』 (語文研究社) <small>ちゅうじょうきゅうにほんご かんせいへん ごぶんけんきゅうしゃ</small></p> | |
| <p><u>授業の進め方 Contents of the class</u> <small>じゅぎょう すす かた</small> <small>ひょうげん ぶんけい れんしゅう とお きそりよく やしな どっかい</small> 表現・文型の練習を通して基礎力を養いながら、読解、ショートプレゼンテー <small>しゅん とお おうよう にほんごうんりよく しゅうとく ぶんぽう ひょうげん</small> ションを通してそれらを応用した日本語運用力を習得していく。文法・表現、 <small>どっかい ちゅうしん じゅぎょう すす てきぎ ほじよ もち おうようれんしゅう と</small> 読解を中心に授業を進めるが、適宜、補助プリントを用いた応用練習も取り入 <small>じゅこうしゃ こ きょうどうがくしゅうかつどう せっきよくてきに さんか</small> れる。受講者には、キャンパスを超えた共同学習活動に積極的に参加しても らいたい。</p> | |
| <p><u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>とうたつ もくひょう</small> <small>ちゅうきゅうこうはん じょうきゅうぜんはん ぶんけい ひょうげん しゅうとく がくじゅつ</small> 中級後半・上級前半レベルの文型・表現を習得しながら、学術・コミュ <small>じょう もくひょうたっせい おうよう のうりよく み っ だいがく</small> ニケーション上の目標達成のためにそれらを応用する能力を身に付ける。大学 <small>まな うえ ひつよう にほんご きそ りかいりよく ひょうげんりよく しゅうとく ほんじゅぎょう とうたつ</small> で学ぶ上で必要な日本語の基礎となる理解力・表現力の習得を本授業の到達 <small>もくひょう</small> 目標とする。</p> | |
| <p><u>評価の方法 Assessment</u> <small>ひょうか ほうほう</small> <small>きまつ しょう かだいていしゅつ じゅぎょうさんかどあい しゅつせき そうごう ひょうか</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、授業参加度合、出席を総合して評価する。</p> | |
| <p><u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>た ちゅうい</small> ・教師がいる吉田キャンパスと桂キャンパスを遠隔システムで結びながら、いず <small>きょうし よしだ かつら えんかく むす</small> れのキャンパスでも受講できる双方向型日本語授業を行う。 <small>じゅこう そうほうこうがたにほんごじゅぎょう おこな</small> ・今学期はテキストの第1課から始める。 <small>こんがつき だい か はじ</small></p> | |